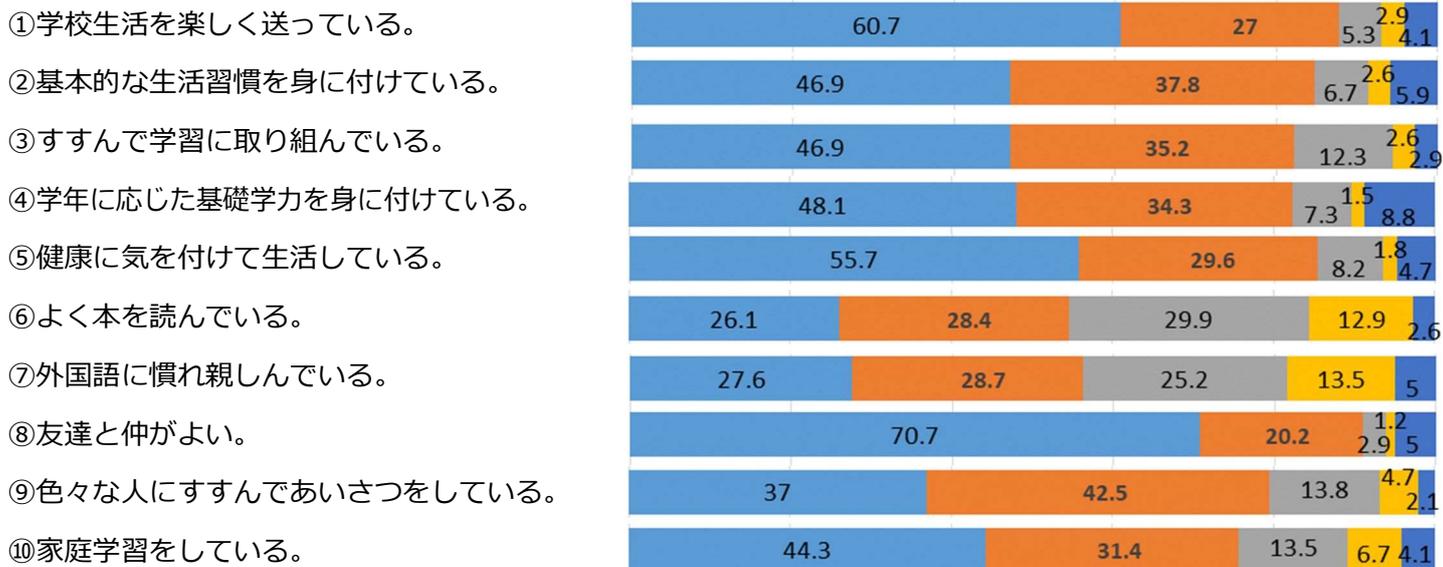


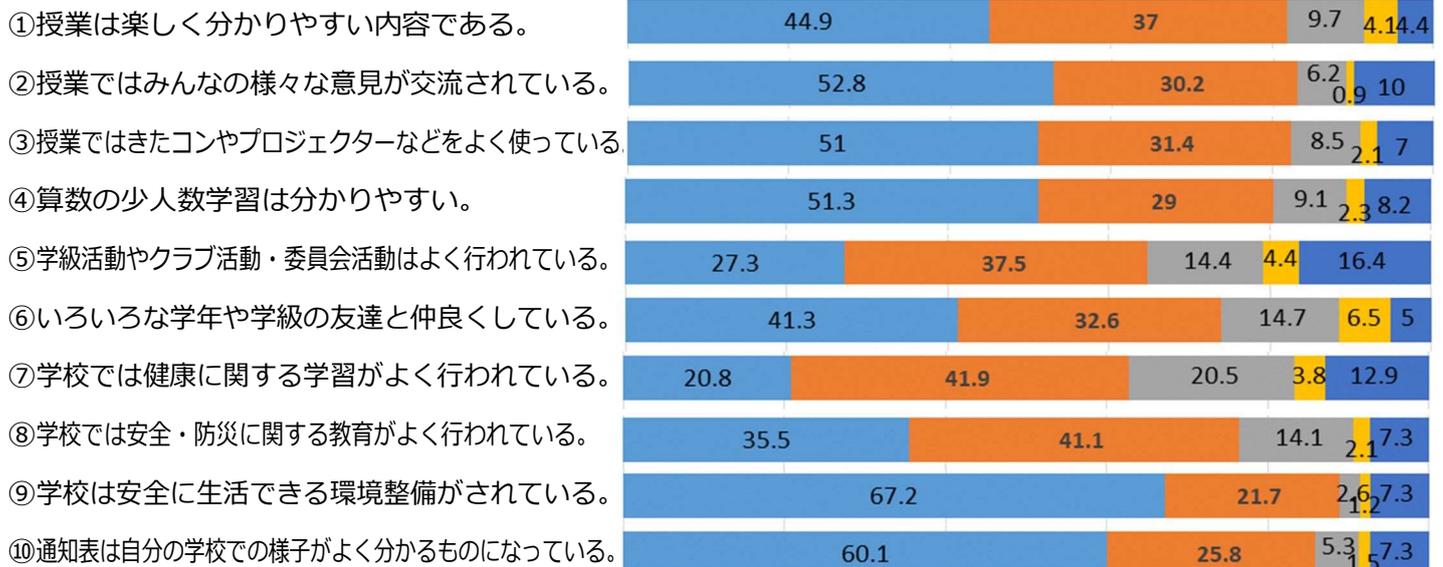
令和年5度 学校生活に関するアンケート結果（3～6年児童 計341名回答）

あてはまる
少しあてはまる
あまりあてはまらない
あてはまらない
わからない

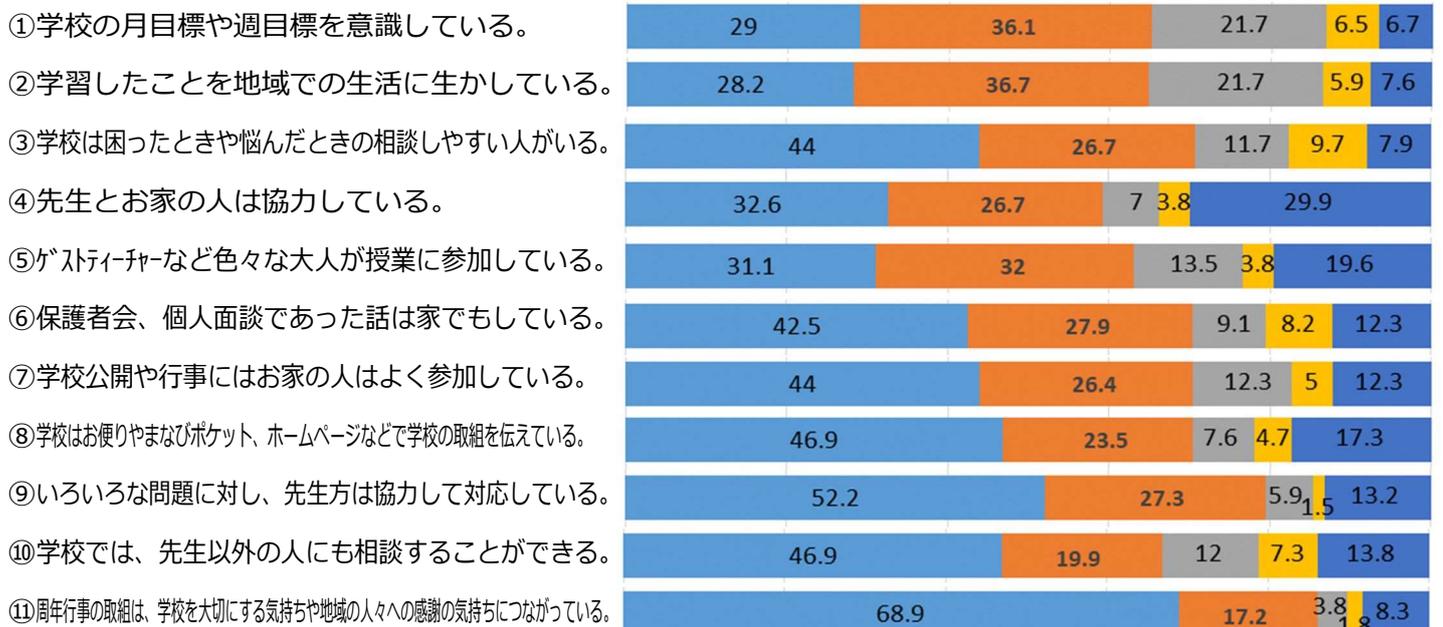
1 児童の様子について



2 学習指導・生活指導・安全指導について



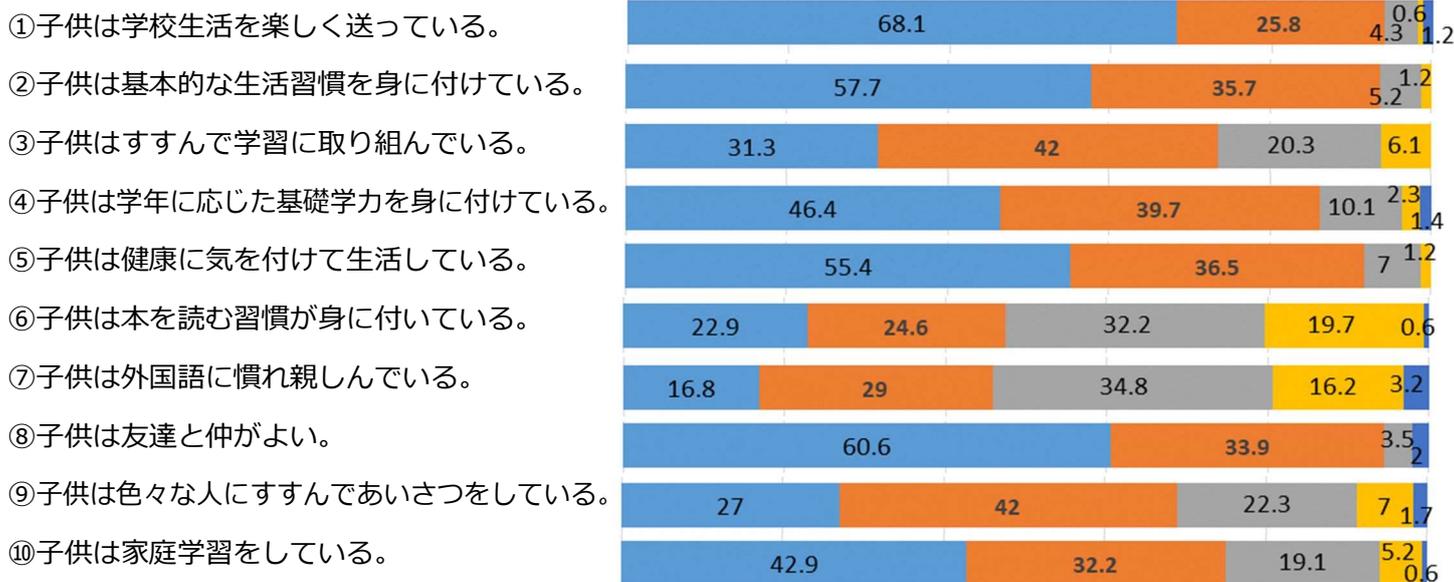
3 家庭・地域との連携について



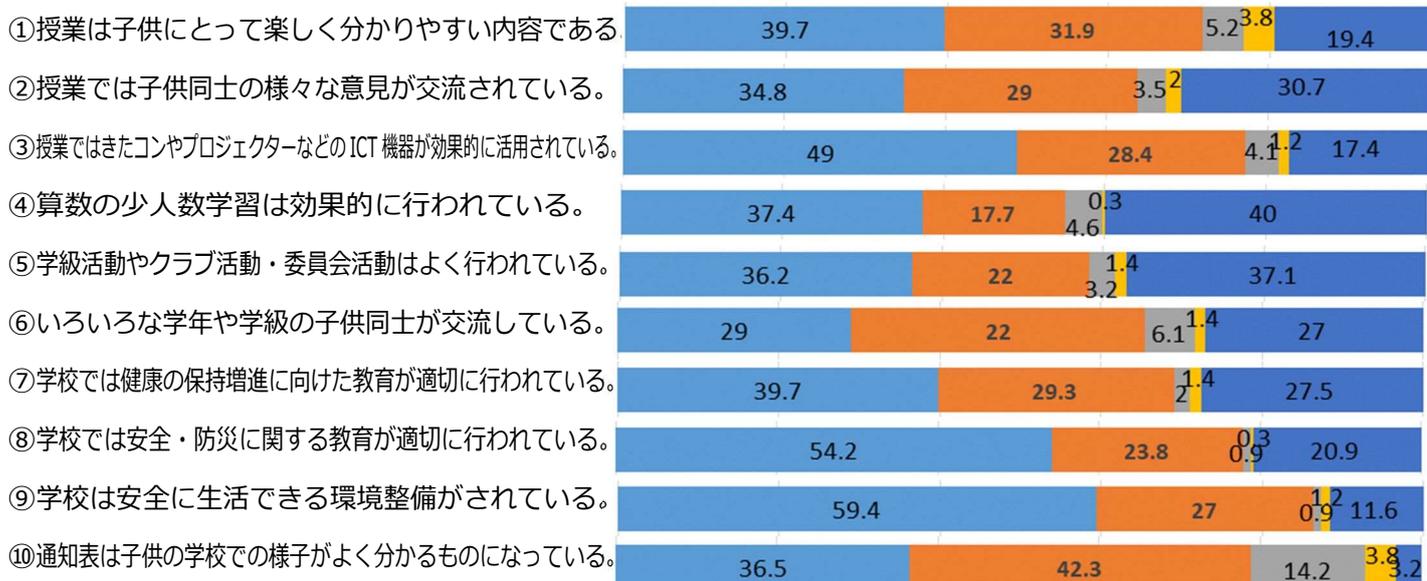
令和年5度 学校生活に関するアンケート結果（保護者 計345名回答）

あてはまる
少しあてはまる
あまりあてはまらない
あてはまらない
わからない

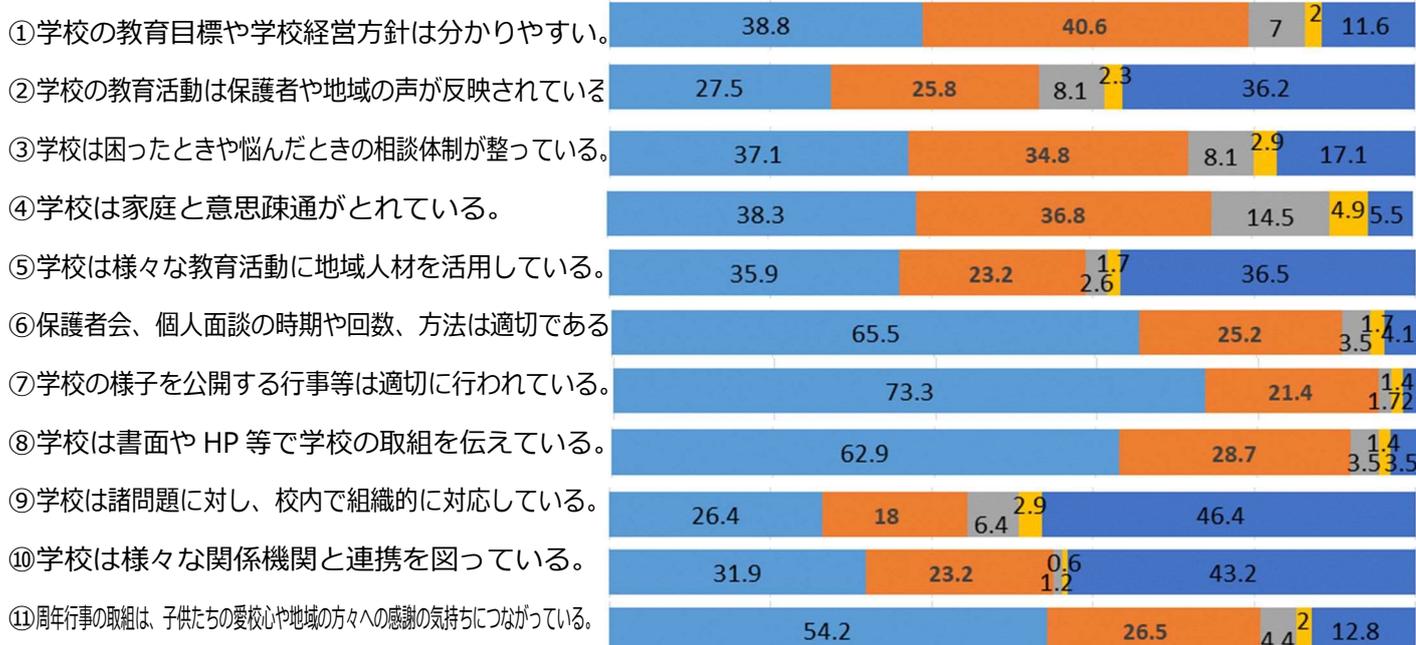
1 児童の様子について



2 学習指導・生活指導・安全指導について



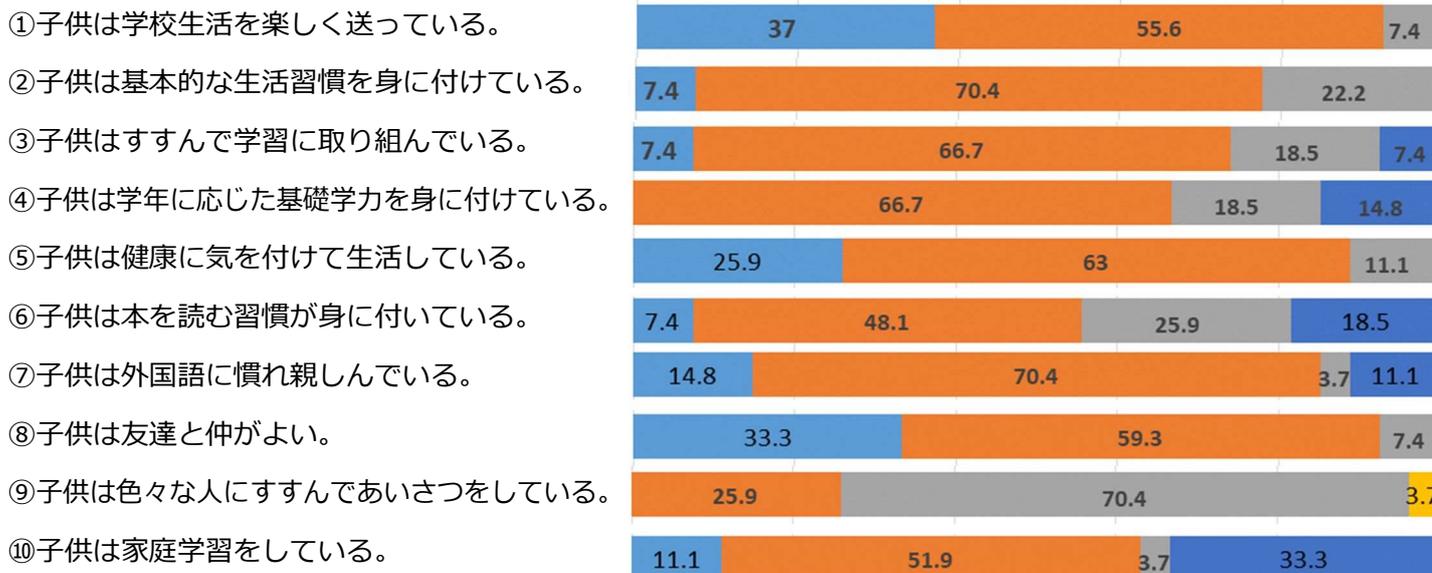
3 家庭・地域との連携について



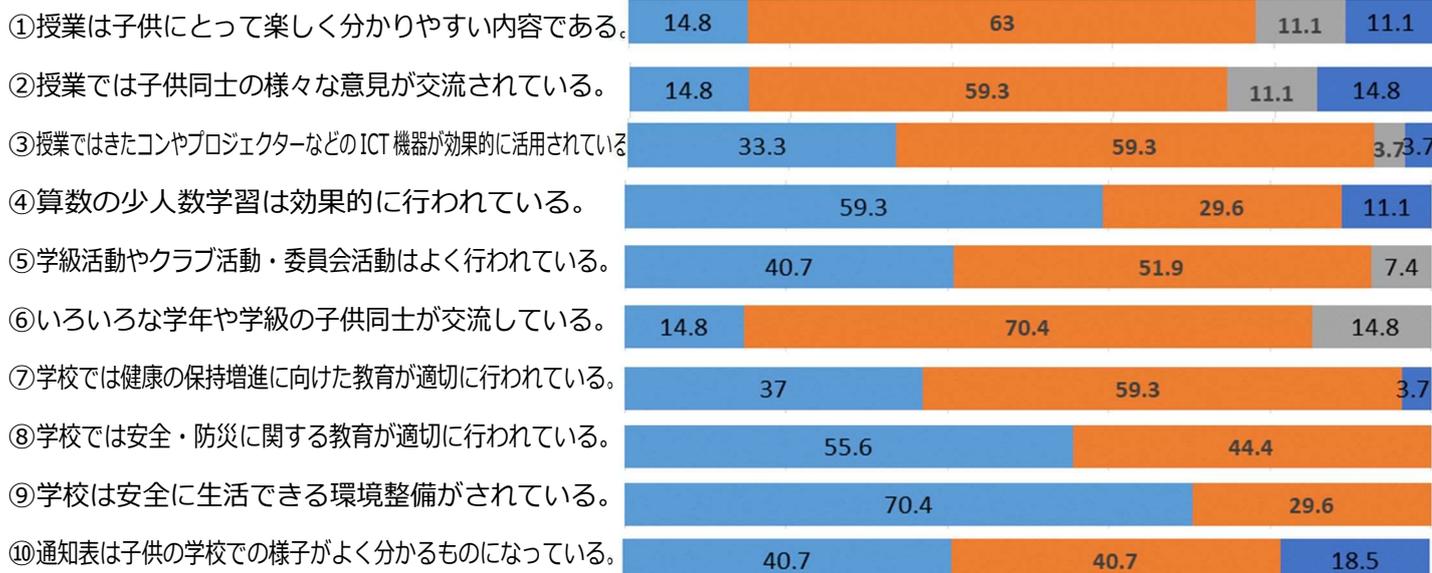
令和年5度 学校生活に関するアンケート結果（教員 計27名回答）

あてはまる
少しあてはまる
あまりあてはまらない
あてはまらない
わからない

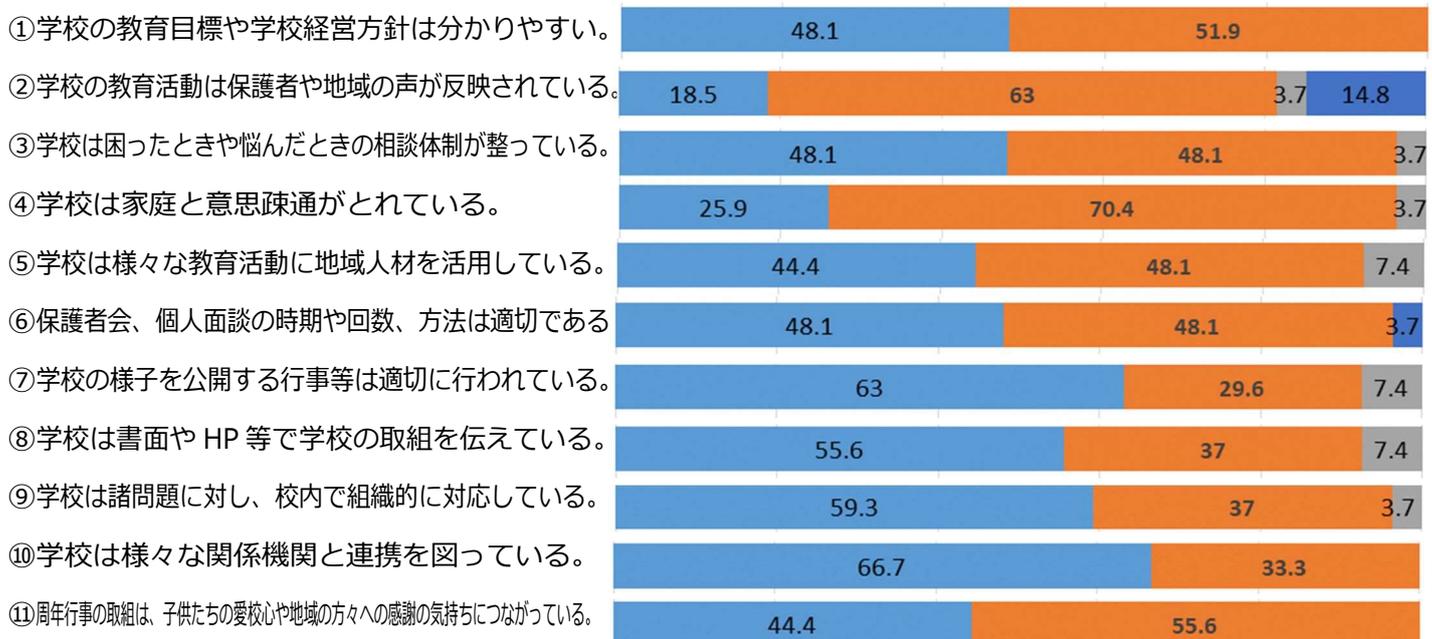
1 児童の様子について



2 学習指導・生活指導・安全指導について



3 家庭・地域との連携について



令和5年度 学校評価結果の分析

1 児童の様子について

- ・「学校生活を楽しく送っている」という設問に対しては、児童・保護者共に約90%は肯定的な回答をしている一方、児童は8.2%、保護者は4.9%が否定的な回答をしている。
- ・「基本的な生活習慣が身に付いている」という設問に対しては、教員の否定的な回答が22.2%であるのに対し、保護者は6.4%、児童は9.3%とそれほど課題として捉えていない。
- ・「すすんで学習に取り組んでいる」「学年に応じた基礎学力を身に付けている」という設問に対しては、児童、保護者の「あてはまる」と肯定的に捉えている回答が教員の数値を大きく上回り、課題意識の差と評価規準の違いが窺える。
- ・「外国語に慣れ親しんでいる」という設問に対しては、否定的な回答が教員は3.7%とごく僅かであるのに対して、保護者は51%、児童は38.7%と大きな差が見られる。
- ・「友達と仲がよい」という設問に対して、保護者は60.6%、児童は70.7%が「あてはまる」と答えている反面、児童の否定的な回答が4.1%あることから、個別の対応が求められる。
- ・「すすんであいさつをしている」という設問に対しては、教員の74.1%が否定的な回答をしているのに対し、保護者は29.3%、児童は約18.5%であり、肯定的な回答の方が大きく上回るなど、実態の捉え方に大きな差が見られる。

2 学習指導・生活指導・安全指導について

- ・「授業は子供にとって楽しく分かりやすい内容である」という設問に対しては、保護者の71.6%、児童の81.9%が肯定的な回答をしており、概ね満足のいく状況である。
- ・「授業では子供同士の様々な意見交流がされている」という設問に対しては、「あてはまる」と答えた教師は14.8%であるのに対して、児童は52.8%であり、授業の様相の捉えが大きく異なっている。
- ・「授業でのICT機器の利活用」、「算数における少人数指導の効果」については、それぞれ17.4%、40%の保護者が「わからない」と答えており、学校公開の機会以外にも情報発信していく必要性が伺える。
- ・「算数における少人数指導の効果」については、11.4%の児童が否定的な回答をしており、個別最適化した学びが実現されるよう、その方法と内容については更なる工夫が求められる。
- ・「健康教育」「安全防災教育」の実施状況については、教師の否定的な回答がないのに対して、児童の否定的な回答と「わからない」を合計した数値はそれぞれ、37.2%、23.5%と一定数おり、児童の理解が深まっていないことが分かる。
- ・「通知表は子供の学校での様子がよく分かるものになっている」という設問に対して、保護者の18%、児童の6.8%が否定的な回答をしており、評価内容やその方法について引き続き分かりやすい周知が求められている。

3 家庭・地域との連携について

- ・「月目標や週目標を意識している」という設問に対して、児童の34.9%が否定的、または「わからない」と回答しており、意識が高まっていない現状がある。
- ・「教育活動は保護者や地域の声が反映されている」という設問に対して、保護者の10.4%が否定的、36.2%が「わからない」と回答しており、社会に開かれた教育過程の実現には課題がある。
- ・「困ったときや悩んだときの相談体制が整っている」という設問に対して、児童の21.4%が否定的な回答をしており、学校に関わる全ての大人が相談を受けられる体制であることの周知を図りたい。
- ・「家庭との意思疎通」については、19.4%の保護者が否定的な回答をしており、引き続き丁寧な対応を心掛ける必要がある。
- ・「校内における組織的な対応」や「関係機関との連携」については、それぞれ46.4%、43.2%の保護者が「わからない」と回答しており、様々な機会に学校における諸問題への対応方法について周知を図りたい。